

OnAir 1500 ユーザーレポート

株式会社テレビ宮崎 様

OnAir 1500-6F



録音室をOnAir 1500で更新



株式会社テレビ宮崎
技術部
長谷川 晋太郎

更新のきっかけ

弊社の録音室は新社屋に移転以来15年間使用しており、機材の老朽化も激しく、故障も頻発するようになったのが更新のきっかけです。

導入して以来15年間通電しっぱなしという状況で、電源装置への不安もあり音声卓の更新を決定しました。

システム設計に関して

録音室の更新に際し、一番重要視したのは、弊社の録音室は技術部員以外が使用することがほとんどで、アナウンサーが一人でナレーション録りをすることもあり、シンプルな構成かつ容易なシステムを目指して、「無駄なものを一切省く」がコンセプトでした。



STUDER製音声卓に決定した理由は、もとも使用していた音声卓がOnAir 1000ということで実績もあり、また前述しました通り、弊社では技術部員以外が使用することがほとんどですので、見た目や操作性を大きく変更したくなかったという点からも、後継機であるOnAir 1500を選定しました。

録音室の主な仕様

主な仕様ですが、MIC 2系統、メモリーレコーダー2系統、MDプレイヤー2系統、CDプレイヤー2系統の入出力と必要最小限に抑えた仕様になりました。

操作方法に関しては、実際に使用するディレクター、アナウンサーに対し直接トレーニングしていただきましたので、システム更新に関する使用者の疑問点や負担も大きく軽減できました。また音声卓は後継機への移行ですので、使用者も特に困惑することなく操作できたことも、今回STUDER製の音声卓を選択して良かったと思う点です。

導入後

OnAir 1000からOnAir 1500に更新したことで、筐体もコンパクトになり録音室の雰囲気も随分すっきりしました。また操作性につ

いても設定ファイルをロードしフェーダーを上げるだけというシンプルな操作になったので非常に好評です。

また、アナプースからリモートでのREC・PLAY操作も可能にしたので、アナウンサー1人での録音作業も、容易に出来るようになったと喜びの声がありました。

運用が始まってから1年が経過しておりますが、些細なことでも電話口で直ぐに対応していただいております、サポート面に関しても申し分なく、今後の音声卓更新でもSTUDERの製品を検討していきたいと考えている所存です。

OnAir 1500を導入するにあたり、ご尽力いただいたスチューダー・ジャパン・ブロードキャストご担当者様、関係各社の皆様、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

